

遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）について



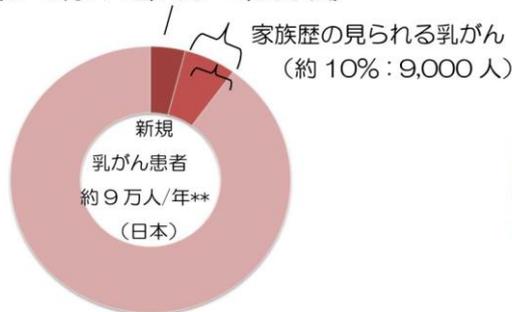
BRCA1 および BRCA 2 という遺伝子に変化があるために乳がんや卵巣がんを高確率で発症する人（家系）があります（遺伝子の変化は男性にも生じます）

遺伝性乳がん卵巣がん症候群とは？

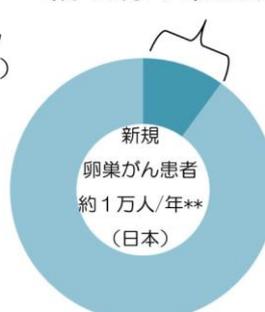
Hereditary Breast and Ovarian Cancer : HBOC

- ◇ 遺伝性のがん（遺伝要因がはっきり分かっているがん）の1つです
- ◇ BRCA1 あるいは BRCA2 遺伝子の変異を生まれつき持っています

遺伝性乳がん卵巣がん
(3~5%*1 : 2,700~4,500 人)



遺伝性乳がん卵巣がん
(約10%* ; 1,000 人)



*海外の報告より、推定しています。

**国立がん研究センターがん情報サービス『がん登録・統計』

遺伝性乳がん卵巣がん症候群の特徴

- 若年で乳がんを発症する
- トリプルネガティブ（エストロゲン受容体、プロゲステロン受容体をもっていない、HER2 発現がないタイプ）の乳がんを発症する
- 両方の乳房にがんを発症する
- 片方の乳房に複数回乳がんを発症する
- 乳がんと卵巣がん（卵管がん、腹膜がんを含む）の両方を発症する
- 男性で乳がんを発症する
- 家系内にすい臓がんや前立腺がんになった人がいる
- 家系内に乳がんや卵巣がんになった人がいる

HBOC の検査診断は遺伝カウンセリングの資格を持つ専門家がいたる高次施設で行います。遺伝子検査を受けない場合でも、上記のような特徴をお持ちの方が何らかの異変を感じた場合は、早めに受診して精査を受けてください
参照：一般社団法人日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構（JOHBOC）→

